

4. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

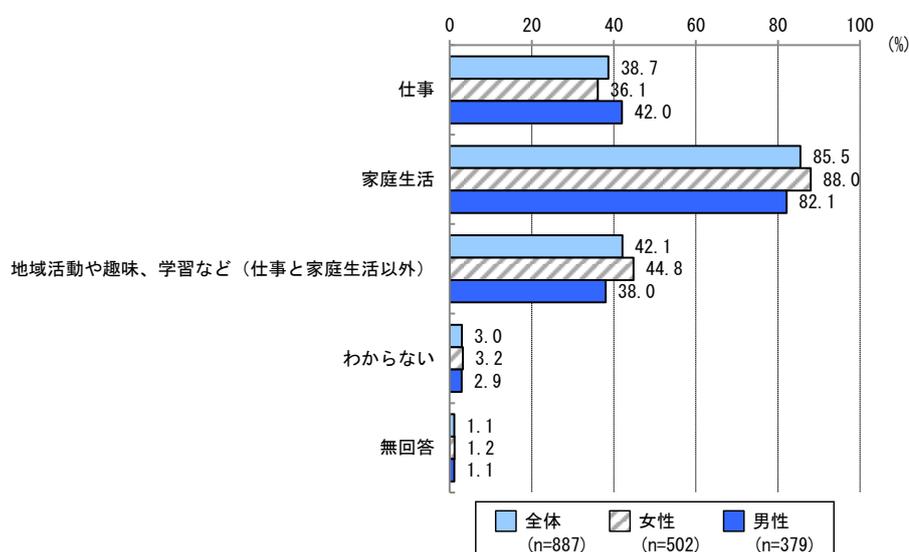
（1）生活において大切にしたいこと

問17 あなたが生活において大切にしたいと望むものはどれですか。
【あてはまるものすべてに○】

生活において大切にしたいと望むものについては、「家庭生活」が85.5%と最も高く、次いで「地域活動や趣味、学習など（仕事と家庭生活以外）」（42.1%）となっています。

性別にみると、「女性」で「地域活動や趣味、学習など（仕事と家庭生活以外）」が44.8%と4割を超えている一方で、「男性」では「仕事」が42.0%と4割を超えています。

性年代別にみると、「30～40歳代女性」・「60歳代女性」・「30歳代男性」で「家庭生活」が9割を超えています。



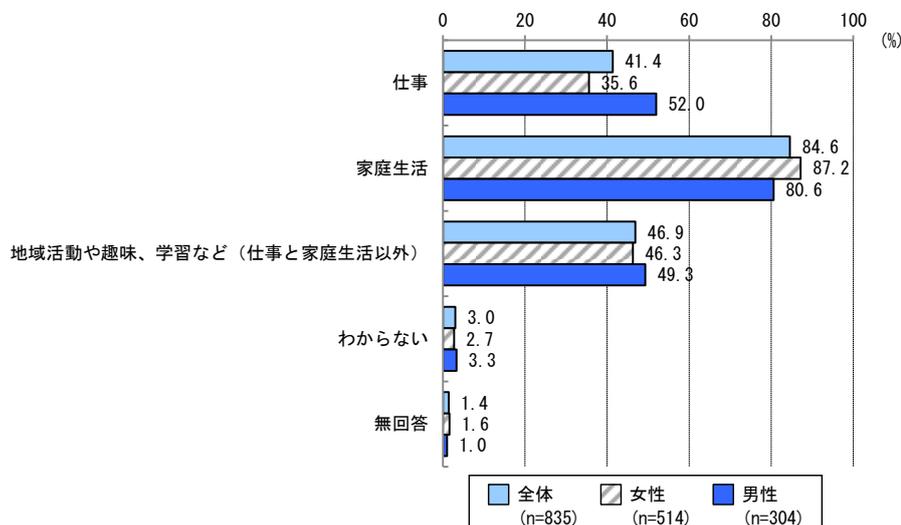
<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	仕事	家庭生活	地域活動や趣味、 学習など (仕事と家庭生活以外)	わからない	無回答
全体		887	38.7	85.5	42.1	3.0	1.1
女性	10～20 歳代	40	35.0	80.0	57.5	2.5	-
	30 歳代	55	47.3	94.5	49.1	1.8	-
	40 歳代	74	52.7	91.9	44.6	2.7	-
	50 歳代	93	38.7	89.2	35.5	2.2	-
	60 歳代	120	30.0	90.0	46.7	5.0	-
	70 歳代	84	23.8	83.3	41.7	4.8	2.4
	80 歳以上	36	27.8	80.6	50.0	-	11.1
男性	10～20 歳代	29	34.5	69.0	51.7	-	3.4
	30 歳代	28	46.4	96.4	28.6	-	-
	40 歳代	48	41.7	85.4	22.9	2.1	2.1
	50 歳代	65	55.4	78.5	38.5	4.6	-
	60 歳代	102	40.2	87.3	41.2	4.9	-
	70 歳代	81	37.0	79.0	39.5	2.5	1.2
	80 歳以上	26	34.6	73.1	42.3	-	3.8

◆ 前回調査との比較

性別にみると、前回調査より、「男性」で「仕事」が10.0ポイント、「地域活動や趣味、学習など（仕事と家庭生活以外）」が11.3ポイント低くなっています。



(2) 生活において実際に大切にできていること

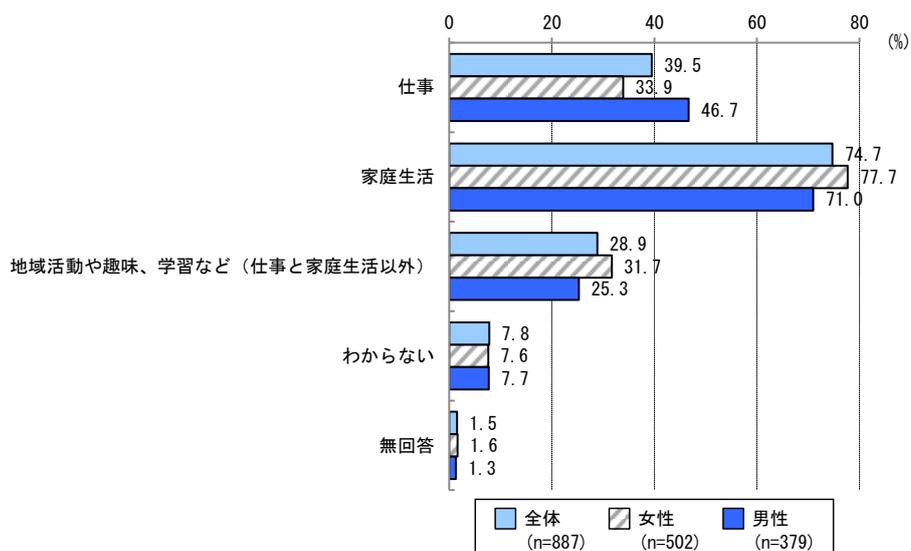
問18 あなたが生活において実際に大切にできているものはどれですか。

【あてはまるものすべてに○】

生活において実際に大切にできているものについては、「家庭生活」が74.7%と最も高く、次いで「仕事」(39.5%)となっています。

性別にみると、「女性」で「家庭生活」が77.7%と8割近くを占めている一方で、「男性」では「仕事」が46.7%と4割を超えています。

性年代別にみると、「10～20歳代女性」、「10～30歳代男性」の「家庭生活」が、大切にしたいと思うもの(問17)より、25ポイント以上、下回っています。



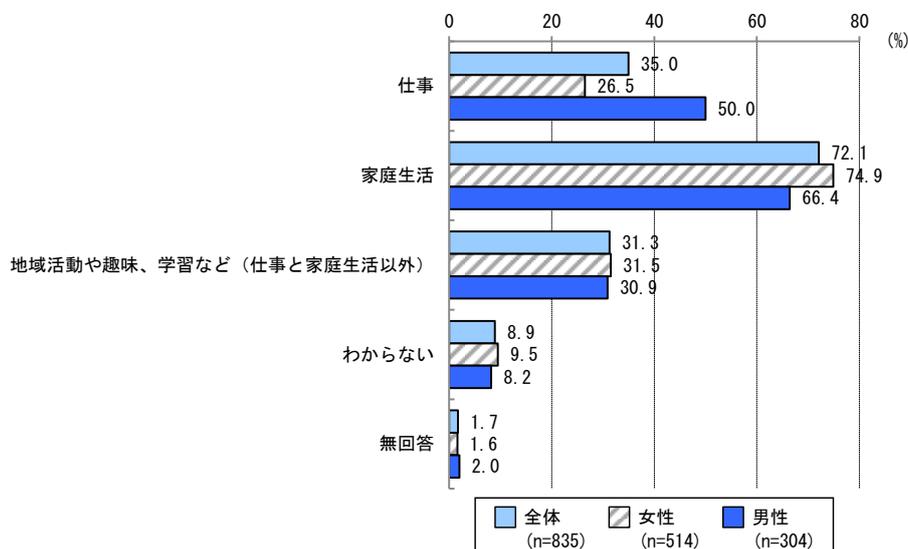
<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	仕事	家庭生活	地域活動や趣味、 学習など (仕事と家庭生活以外)	わからない	無回答
全体		887	39.5	74.7	28.9	7.8	1.5
女性	10～20 歳代	40	30.0	42.5	52.5	12.5	-
	30 歳代	55	32.7	76.4	30.9	10.9	-
	40 歳代	74	50.0	75.7	21.6	6.8	1.4
	50 歳代	93	48.4	78.5	18.3	10.8	-
	60 歳代	120	26.7	85.8	37.5	6.7	1.7
	70 歳代	84	23.8	82.1	38.1	2.4	2.4
	80 歳以上	36	16.7	83.3	30.6	5.6	8.3
男性	10～20 歳代	29	24.1	41.4	41.4	20.7	3.4
	30 歳代	28	50.0	71.4	10.7	10.7	-
	40 歳代	48	56.3	66.7	18.8	8.3	2.1
	50 歳代	65	63.1	66.2	23.1	9.2	-
	60 歳代	102	51.0	81.4	29.4	5.9	-
	70 歳代	81	35.8	75.3	23.5	4.9	2.5
	80 歳以上	26	26.9	69.2	30.8	-	3.8

◆ 前回調査との比較

性別にみると、前回調査より、「女性」で「仕事」が7.4ポイント高く、「男性」で「地域活動や趣味、学習など（仕事と家庭生活以外）」が5.6ポイント低くなっています。

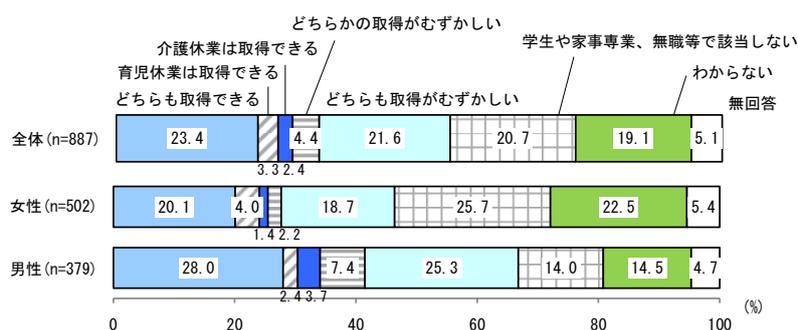


(3) 育児休業・介護休業の取得意向

問19 もし、あなたに育児や介護の必要な家族があれば、今の状況で実際に育児休業・介護休業を取得することは可能ですか。【〇は1つ】

今の状況で必要があった時、育児休業・介護休業を取得することが可能かについては、「どちらも取得できる」が23.4%と最も高く、次いで「どちらも取得がむずかしい」(21.6%)となっています。

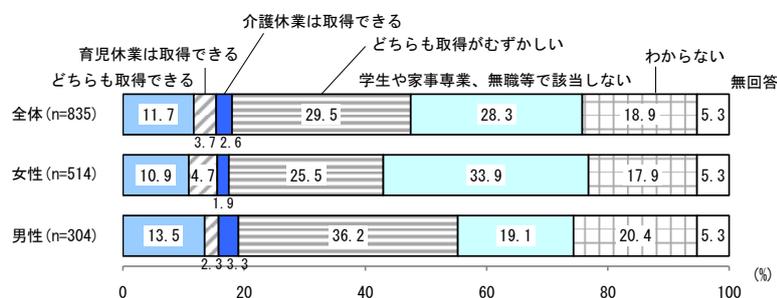
性別にみると、「男性」で「どちらも取得できる」が28.0%と、3割近くを占め最も高くなっているものの、次いで「どちらも取得がむずかしい」が25.3%を占めています。



◆ 前回調査との比較 (※一部選択肢が今回調査とは異なる)

全体では、前回調査より「どちらも取得できる」が11.7ポイント高く、「どちらも取得がむずかしい」は7.9ポイント低くなっています。

性別にみると、前回調査より、「どちらも取得できる」が「女性」で9.2ポイント、「男性」で14.5ポイント高くなっています。また、「どちらも取得がむずかしい」は、「女性」で6.8ポイント、「男性」で10.9ポイント低くなっています。



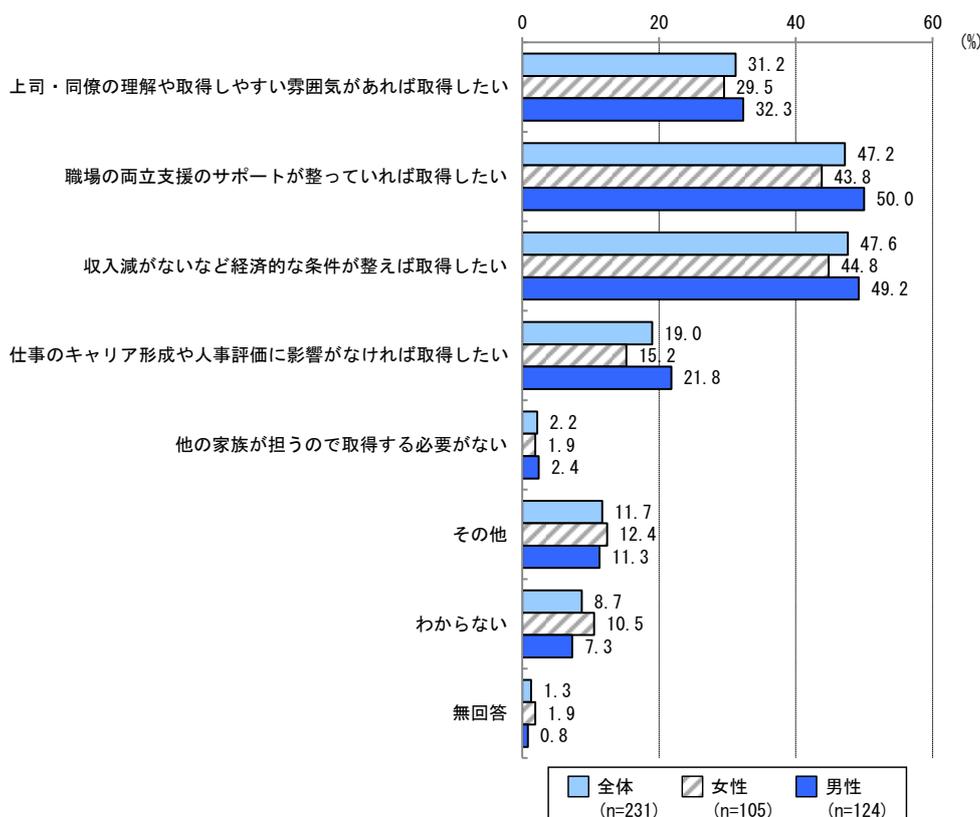
(4) 育児休業・介護休業を取得する条件

問20 どのような条件が整えば、あなたは育児休業・介護休業を取得しますか。

【あてはまるものすべてに○】(※問19で「4. どちらかの取得がむずかしい」、「5. どちらも取得がむずかしい」のいずれかを答えた方のみで集計)

育児休業・介護休業を取得するための条件については、「収入減がないなど経済的な条件が整えば取得したい」が47.6%と最も高く、次いで「職場の両立支援のサポートが整っていれば取得したい」(47.2%)、「上司・同僚の理解や取得しやすい雰囲気があれば取得したい」(31.2%)となっています。

性別にみると、「男性」で「職場の両立支援のサポートが整っていれば取得したい」が50.0%と5割を占め最も高くなっています。



◇ 「2. 職場の両立支援のサポートが整っていれば取得したい」を回答した理由

・ 誰か休むとしわ寄せ来そうな人数なので、サポートがいる人たちを優先すると、誰かの毎日が壊れる感じがする。(女性40歳代)

◇ 「3. 収入減がないなど経済的な条件が整えば取得したい」を回答した理由

・ ベーシックインカムでの月7万円支給、ベビーシッターが雇える収入、FIRE(経済的に自立した状態)でないと、育児・介護するのは難しい(お金と時間の確保など)。(女性30歳代)

◇ 「5. 他の家族が担うので取得する必要がない」を回答した理由

・ 若い人達がいるので家庭内では必要がない。(女性60歳代)

◇ 「6. その他」の内容

・ 自営だから“休業”というのが当てはまらない。(男性40歳代)

・ 一人で仕事をしているので辞めなければならない。(男性70歳代)

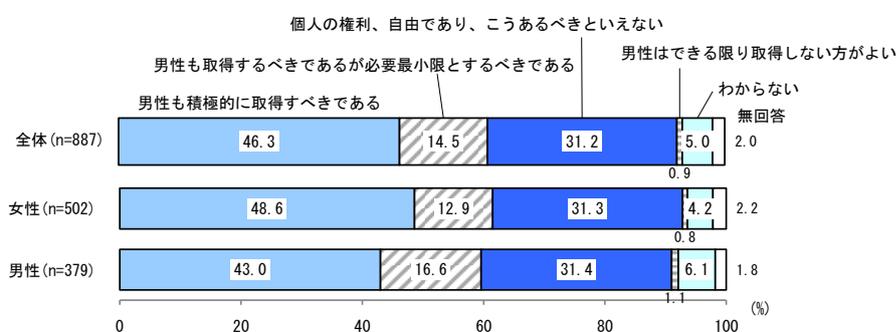
(5) 男性の育児休業・介護休業取得に対する考え

問21 男性が育児休業や介護休業を取得し、子育て・介護を行うことについて、どのように思いますか。【〇は1つ】

男性が育児休業や介護休業を取得し、子育て・介護をすることについてどのように思うかについては、「男性も積極的に取得すべきである」が46.3%と最も高く、次いで「個人の権利、自由であり、こうあるべきとはいえない」(31.2%)となっています。

性別にみると、「女性」で「男性も積極的に取得すべきである」が48.6%と5割近くを占めています。

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ、「男性も積極的に取得すべきである」が減少する傾向がみられ、「80歳以上」では27.4%と3割未満となっています。



<年代別クロス表>

(%)

	調査数	ある	男性も積極的に取得すべきである	必要最小限とするべきである	個人の権利、自由であり、こうあるべきとはいえない	男性はできる限り取得しない方がよい	わからない	無回答
全体	887	46.3	14.5	31.2	0.9	5.0	2.0	
10~20歳代	71	57.7	7.0	31.0	-	2.8	1.4	
30歳代	84	52.4	6.0	36.9	1.2	3.6	-	
40歳代	122	50.0	7.4	37.7	0.8	3.3	0.8	
50歳代	160	45.6	12.5	36.9	1.9	3.1	-	
60歳代	222	47.7	19.4	27.0	0.9	3.6	1.4	
70歳代	166	41.6	18.1	28.9	-	7.8	3.6	
80歳以上	62	27.4	27.4	17.7	1.6	14.5	11.3	

◇ 「1. 男性も積極的に取得すべきである」を回答した理由

・産後、里帰り等しない場合の身体の負担が大きいので、配偶者やパートナーに支えてほしいと思いました。(女性30歳代)
・実際に3週間の育児休暇を取得して助かったので(男性40歳代)
・一方が行うのではなく両方で行うという考えが必要と考えます。(女性60歳代)
・精神的、肉体的負担が大きいので、男女のどちらかに負担が片寄ると家庭生活が破綻するので。(男性60歳代)

◇ 「2. 男性も取得すべきであるが必要最小限とするべきである」を回答した理由

・育児、介護休業を取る側になれば、積極的に取得すべきではあるが、職場で働いている側になれば、ギリギリの雇用をしている場合、人数が足りず、仕事量が増えたり、残業増えたり、心よく取得することをよく思わない。(女性50歳代)
・積極的に取得出来るほど、社会や会社の環境が整っていないから?(男性60歳代)

◇ 「3. 個人の権利、自由であり、こうあるべきといえない」を回答した理由

・もちろん理想は男性女性とも取得しやすい環境だが、社会の風潮や会社の暗黙の了解に逆らいたくなく考える人も多いのではないかと思います、それ(取得しないということ)も一つの個人の選択だと思うから。(女性10~20歳代)
・家族内の特性や状況により判断されるべき事である。(男性40歳代)
・各家庭において家族構成・就労条件が違うため。(女性60歳代)

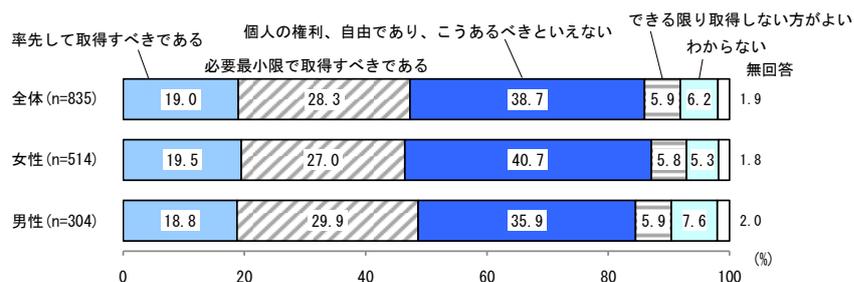
◇ 「4. 男性はできる限り取得しない方がよい」を回答した理由

・手伝ってくれると思えないので。(女性50歳代)
・収入面を確保するため。(男性50歳代)

◆ 前回調査との比較(※一部選択肢が今回調査とは異なる)

全体では、「男性も積極的に取得すべきである」と「男性も取得するべきであるが必要最小限とするべきである」を合わせた『取得すべきである』割合が、前回調査(「率先して取得すべきである」・「必要最小限で取得すべきである」の合計)より、13.5ポイント高くなっています。

性別にみると、前回調査より、『取得すべきである』割合が「女性」で15.0ポイント、「男性」で10.9ポイント高くなっています。



(6) 男性が家事、子育て、介護等を積極的に行うために必要なこと

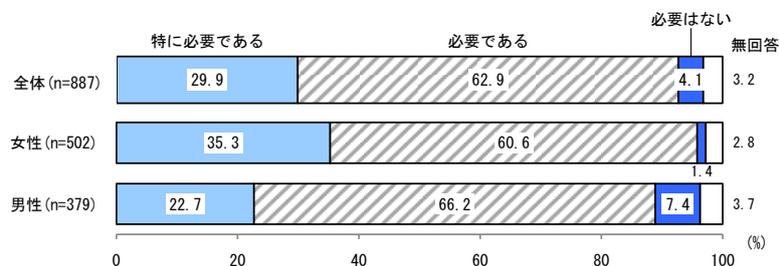
問22 男性が家事、子育て、介護等を積極的に行うために必要なことについて、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。【○は各項目1つ】

- ① 男性が家事、子育て、介護等をするに対して、男性自身が抵抗感をなくすこと

男性が家事、子育て、介護等をするに対して、男性自身が抵抗感をなくすことについては、「必要である」が62.9%と最も高く、「特に必要である」(29.9%)を合わせた『必要である』割合は92.8%となっています。

性別にみると、「女性」で「特に必要である」が35.3%と3割を超えています。

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ、「特に必要である」が減少する傾向がみられ、「70歳以上」では2割未満となっています。



<年代別クロス表>

(%)

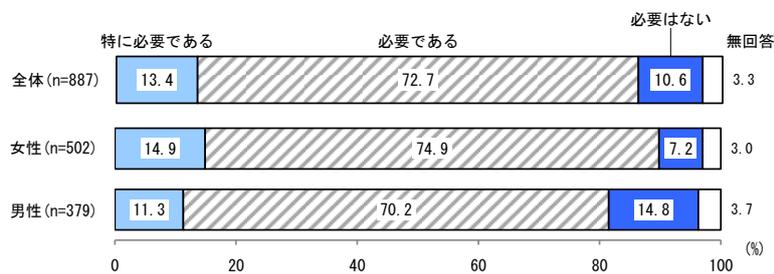
	調査数	特に必要なである	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	29.9	62.9	4.1	3.2	92.8
10~20 歳代	71	40.8	53.5	4.2	1.4	94.3
30 歳代	84	40.5	57.1	2.4	-	97.6
40 歳代	122	37.7	57.4	3.3	1.6	95.1
50 歳代	160	28.8	65.0	5.0	1.3	93.8
60 歳代	222	31.5	64.9	1.8	1.8	96.4
70 歳代	166	19.9	68.7	7.2	4.2	88.6
80 歳以上	62	11.3	64.5	4.8	19.4	75.8

問22 ② 男性が家事、子育て、介護等をするに対して、女性が抵抗感をなくすこと

男性が家事、子育て、介護等をするに対して、女性が抵抗感をなくすことについては、「必要である」が72.7%と最も高く、「特に必要である」(13.4%)を合わせた『必要である』割合は86.1%となっています。

性別にみると、「男性」で「必要はない」が14.8%と1割を超えています。

年代別にみると、「10～30歳代」で「特に必要である」が2割を超えている一方で、「70歳以上」では1割未満となっています。



<年代別クロス表>

(%)

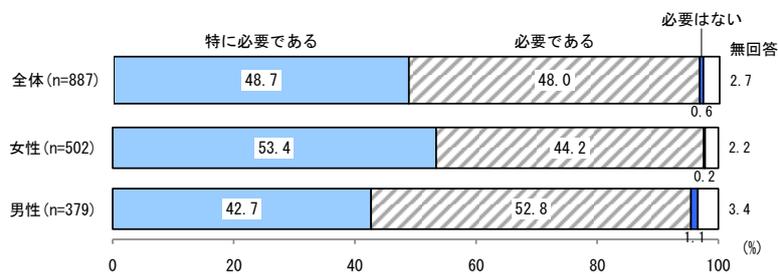
	調査数	特に必要である	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	13.4	72.7	10.6	3.3	86.1
10～20歳代	71	22.5	63.4	12.7	1.4	85.9
30歳代	84	27.4	63.1	9.5	-	90.5
40歳代	122	13.1	76.2	9.0	1.6	89.3
50歳代	160	15.0	72.5	11.9	0.6	87.5
60歳代	222	12.6	75.7	9.5	2.3	88.3
70歳代	166	6.0	75.3	14.5	4.2	81.3
80歳以上	62	3.2	72.6	3.2	21.0	75.8

問22 ③ 夫婦や家族間のコミュニケーションをよくはかること

夫婦や家族間のコミュニケーションをよくはかることについては、「特に必要である」が48.7%と最も高く、「必要である」(48.0%)を合わせた『必要である』割合は96.7%となっています。

性別にみると、「女性」で「特に必要である」(53.4%)、「男性」で「必要である」(52.8%)がそれぞれ最も高くなっています。

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ、「特に必要である」が減少する傾向がみられ、「70歳以上」では4割未満となっています。



<年代別クロス表>

(%)

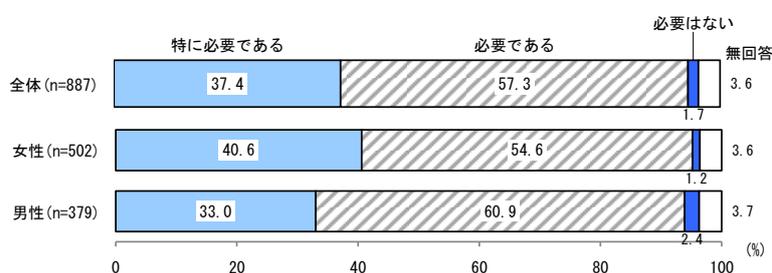
	調査数	特に必要である	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	48.7	48.0	0.6	2.7	96.7
10~20 歳代	71	76.1	22.5	-	1.4	98.6
30 歳代	84	65.5	34.5	-	-	100.0
40 歳代	122	53.3	44.3	0.8	1.6	97.6
50 歳代	160	50.6	46.9	1.9	0.6	97.5
60 歳代	222	43.7	54.5	-	1.8	98.2
70 歳代	166	34.9	60.2	0.6	4.2	95.1
80 歳以上	62	35.5	50.0	-	14.5	85.5

問22 ④ 当事者の考え方を尊重し、周りの人が固定的な役割や観念等を押し付け
ないこと

当事者の考え方を尊重し、周りの人が固定的な役割や観念等を押し付けないことについては、「必要である」が57.3%と最も高く、「特に必要である」(37.4%)を合わせた『必要である』割合は94.7%となっています。

性別にみると、「女性」で「特に必要である」が40.6%と4割を占めています。

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ「特に必要である」が減少する傾向がみられ、「80歳以上」では19.4%と2割未満となっています。



<年代別クロス表>

(%)

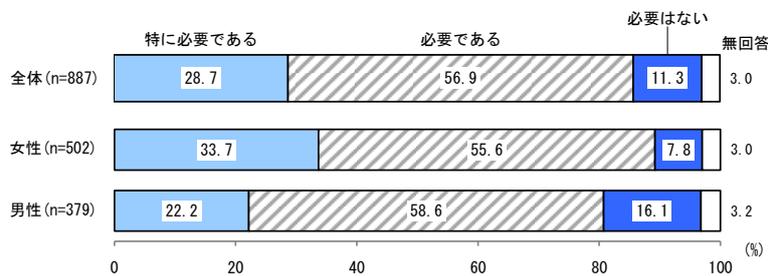
	調査数	特に必要である	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	37.4	57.3	1.7	3.6	94.7
10～20 歳代	71	57.7	40.8	-	1.4	98.5
30 歳代	84	57.1	42.9	-	-	100.0
40 歳代	122	41.8	55.7	0.8	1.6	97.5
50 歳代	160	37.5	58.1	3.8	0.6	95.6
60 歳代	222	35.6	60.4	0.9	3.2	96.0
70 歳代	166	24.7	66.9	1.8	6.6	91.6
80 歳以上	62	19.4	59.7	4.8	16.1	79.1

問22 ⑤ 社会の中で、男性による家事、子育て、介護等についての評価を高めること

社会の中で、男性による家事、子育て、介護等についての評価を高めることについては、「必要である」が56.9%と最も高く、「特に必要である」(28.7%)を合わせた『必要である』割合は85.6%となっています。

性別にみると、「女性」で「特に必要である」が33.7%と3割を超えている一方で、「男性」で「必要はない」が16.1%と1割を超えています。

年代別にみると、「10～40歳代」で「特に必要である」が3割を超えています。



<年代別クロス表>

(%)

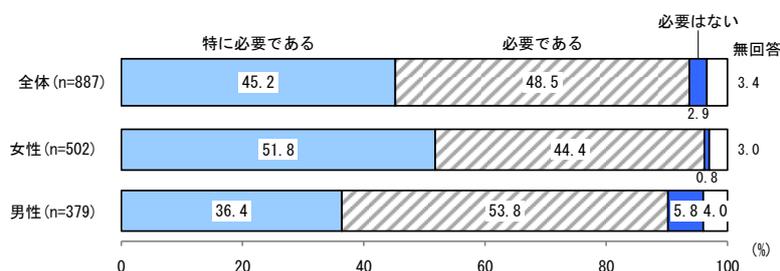
	調査数	特に必要である	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	28.7	56.9	11.3	3.0	85.6
10～20歳代	71	33.8	54.9	9.9	1.4	88.7
30歳代	84	35.7	48.8	15.5	-	84.5
40歳代	122	37.7	50.8	9.8	1.6	88.5
50歳代	160	29.4	58.1	12.5	-	87.5
60歳代	222	29.7	60.8	7.2	2.3	90.5
70歳代	166	17.5	63.3	14.5	4.8	80.8
80歳以上	62	21.0	48.4	12.9	17.7	69.4

問22 ⑥ 男性による家事、子育て、介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること

男性による家事、子育て、介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めることについては、「必要である」が48.5%と最も高く、「特に必要である」(45.2%)を合わせた『必要である』割合は93.7%となっています。

性別にみると、「女性」で「特に必要である」が51.8%と5割を超えています。

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれ「特に必要である」が減少する傾向がみられ、「70歳以上」では4割未満となっています。



<年代別クロス表>

(%)

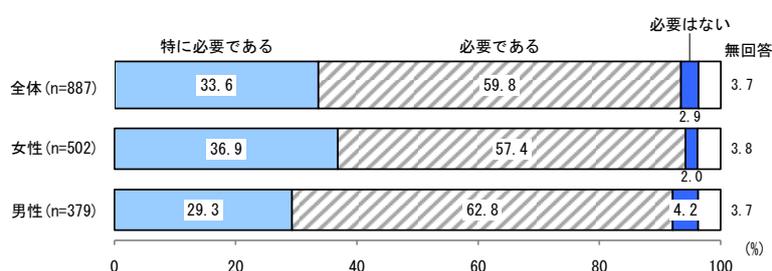
	調査数	特に必要な	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	45.2	48.5	2.9	3.4	93.7
10~20 歳代	71	57.7	39.4	1.4	1.4	97.1
30 歳代	84	54.8	44.0	1.2	-	98.8
40 歳代	122	54.1	41.0	3.3	1.6	95.1
50 歳代	160	47.5	48.8	3.8	-	96.3
60 歳代	222	42.8	53.2	2.3	1.8	96.0
70 歳代	166	33.7	56.0	4.8	5.4	89.7
80 歳以上	62	33.9	41.9	1.6	22.6	75.8

問22 ⑦ 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなど多様な働き方を普及し、仕事以外の時間を多く持てるようにすること

労働時間短縮や休暇制度、テレワークなど多様な働き方を普及し、仕事以外の時間を多く持てるようにすることについては、「必要である」が59.8%と最も高く、「特に必要である」(33.6%)を合わせた『必要である』割合は93.4%となっています。

性別にみると、「女性」で「特に必要である」が36.9%と3割を超えています。

年代別にみると、「10～30歳代」で「特に必要である」が5割を超えています。



<年代別クロス表>

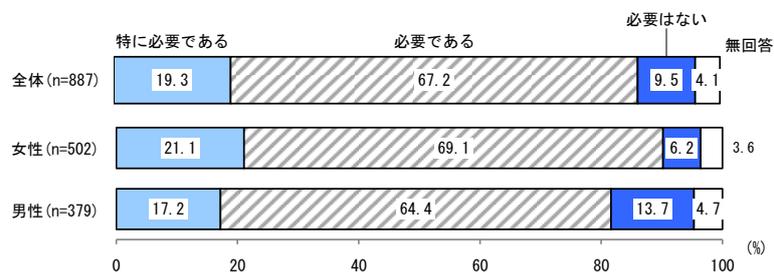
	調査数	特に必要である	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計 (%)
全体	887	33.6	59.8	2.9	3.7	93.4
10～20 歳代	71	54.9	43.7	-	1.4	98.6
30 歳代	84	59.5	39.3	1.2	-	98.8
40 歳代	122	45.9	50.8	1.6	1.6	96.7
50 歳代	160	30.6	63.8	5.6	-	94.4
60 歳代	222	28.8	66.2	2.7	2.3	95.0
70 歳代	166	16.3	73.5	4.2	6.0	89.8
80 歳以上	62	21.0	53.2	1.6	24.2	74.2

問22 ⑧ 男性の家事、子育て、介護等に関心を高めるよう、啓発や情報提供、相談窓口の設置などを行うこと

男性の家事、子育て、介護等に関心を高めるよう、啓発や情報提供、相談窓口の設置などを行うことについては、「必要である」が67.2%と最も高く、「特に必要である」(19.3%)を合わせた『必要である』割合は86.5%となっています。

性別にみると、「男性」で「必要はない」が13.7%と1割を超えています。

年代別にみると、「10～40歳代」で「特に必要である」が2割を超えています。



<年代別クロス表>

(%)

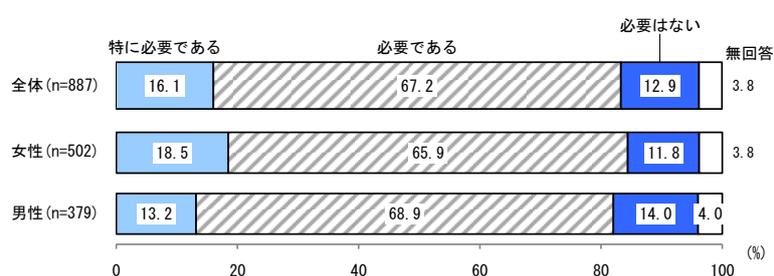
	調査数	特に必要である	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	19.3	67.2	9.5	4.1	86.5
10～20歳代	71	26.8	59.2	12.7	1.4	86.0
30歳代	84	26.2	61.9	11.9	-	88.1
40歳代	122	23.0	63.9	9.8	3.3	86.9
50歳代	160	15.0	73.8	10.0	1.3	88.8
60歳代	222	19.8	69.8	8.1	2.3	89.6
70歳代	166	15.1	69.3	9.6	6.0	84.4
80歳以上	62	14.5	58.1	4.8	22.6	72.6

問22 ⑨ 男性が家事、子育て、介護、地域活動等を行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること

男性が家事、子育て、介護、地域活動等を行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめることについては、「必要である」が67.2%と最も高く、「特に必要である」（16.1%）を合わせた『必要である』割合は83.3%となっています。

性別にみると、「女性」で「特に必要である」が18.5%と2割近くを占めています。

年代別にみると、概ね年代が若くなるにつれ「特に必要である」が増加する傾向がみられます。



<年代別クロス表>

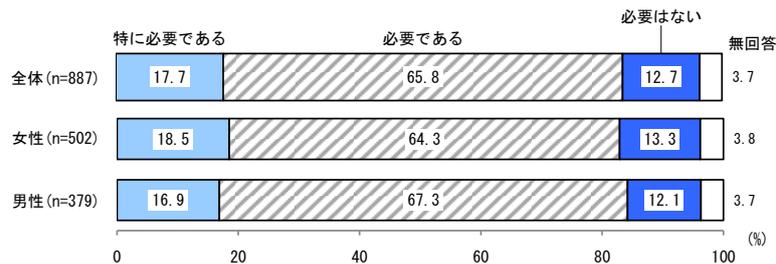
	調査数	特に必要なある	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	16.1	67.2	12.9	3.8	83.3
10～20 歳代	71	26.8	62.0	9.9	1.4	88.8
30 歳代	84	25.0	61.9	13.1	-	86.9
40 歳代	122	20.5	61.5	16.4	1.6	82.0
50 歳代	160	13.8	73.1	12.5	0.6	86.9
60 歳代	222	16.7	69.8	11.3	2.3	86.5
70 歳代	166	9.6	68.1	16.3	6.0	77.7
80 歳以上	62	4.8	64.5	6.5	24.2	69.3

問22 ⑩ 男性が講座等で家事、子育て、介護等の技能や知識を高めること

男性が講座等で家事、子育て、介護等の技能や知識を高めることについては、「必要である」が65.8%と最も高く、「特に必要である」(17.7%)を合わせた『必要である』割合は83.5%となっています。

性別で大きな差はみられません。

年代別にみると、「10～20歳代」で『必要である』割合が91.5%と9割を占めています。



<年代別クロス表>

(%)

	調査数	特に必要なある	必要である	必要はない	無回答	『必要である』計
全体	887	17.7	65.8	12.7	3.7	83.5
10～20歳代	71	35.2	56.3	7.0	1.4	91.5
30歳代	84	21.4	63.1	14.3	1.2	84.5
40歳代	122	24.6	57.4	15.6	2.5	82.0
50歳代	160	15.6	65.6	18.1	0.6	81.2
60歳代	222	16.7	69.4	11.3	2.7	86.1
70歳代	166	11.4	72.9	10.2	5.4	84.3
80歳以上	62	4.8	66.1	9.7	19.4	70.9

(7) 地域活動での男女の役割分担の実態と回答者の考え

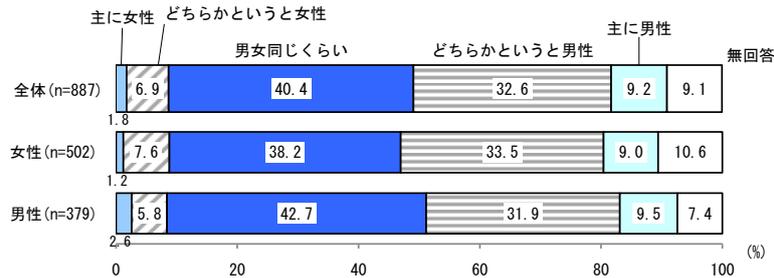
問23 単位自治会や、ボランティアなどの地域活動に関する①～⑥項目について、(1) 男女の役割分担の実態と、(2) 役割分担についての、あなたの考えに最も近いものをお答えください。【〇は各項目1つ】

① 地域活動の企画立案

(1) 実態

企画立案での男女の役割分担の実態については、「男女同じくらい」が40.4%と最も高く、次いで「どちらかというと男性」(32.6%)となっています。

性別で大きな差はみられません。

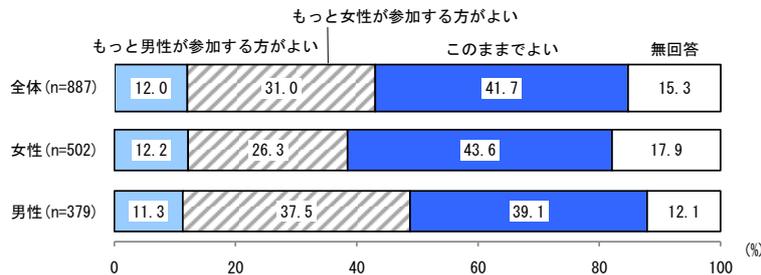


(2) 考え

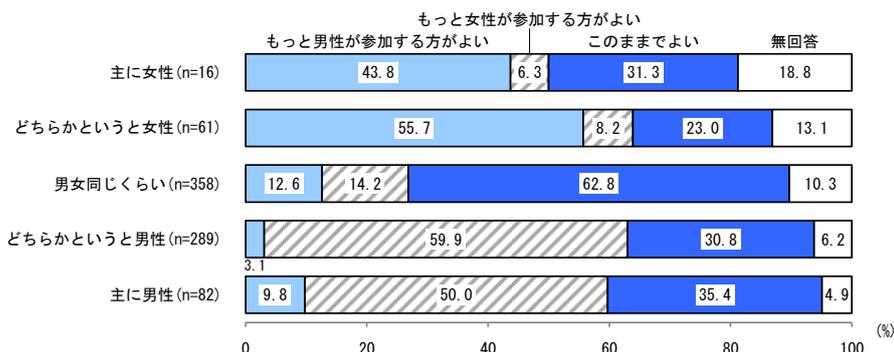
企画立案での男女の役割分担に対する考えについては、「このままでよい」が41.7%と最も高く、次いで「もっと女性が参加する方がよい」(31.0%)となっています。

性別にみると、「男性」で「もっと女性が参加する方がよい」が37.5%と4割近くを占めています。

(1) 実態での回答別にみると、「主に女性」・「どちらかというと女性」と答えた人で「もっと男性が参加する方がよい」、「男女同じくらい」と答えた人で「このままでよい」、「どちらかというと男性」・「主に男性」と答えた人で「もっと女性が参加する方がよい」がそれぞれ最も高くなっています。



< (1) 実態とのクロス集計 >

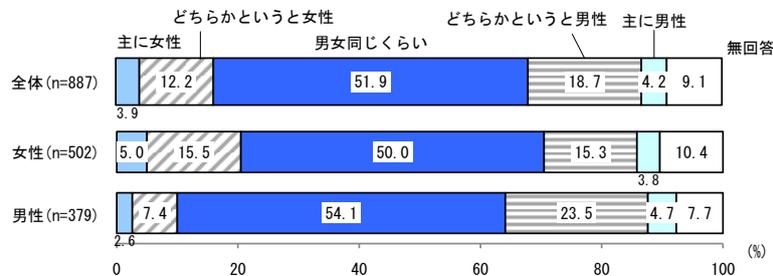


問23 ② 行事の準備や片付け

(1) 実態

行事の準備や片付けでの男女の役割分担の実態については、「男女同じくらい」が51.9%と最も高く、次いで「どちらかというと男性」(18.7%)となっています。

性別にみると、「男性」で「どちらかというと男性」が23.5%と2割を超えています。

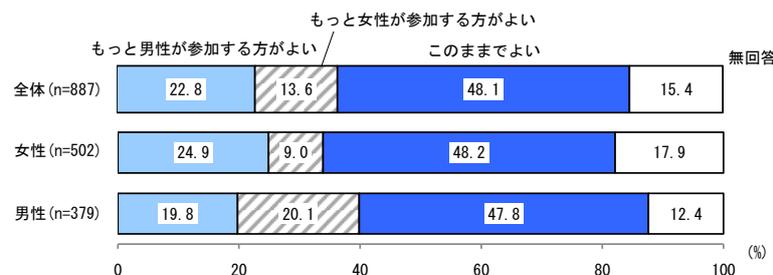


(2) 考え

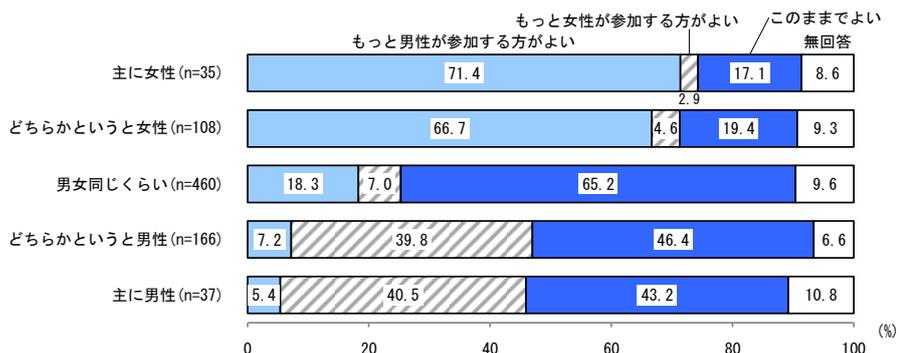
行事の準備や片付けでの男女の役割分担に対する考えについては、「このままでよい」が48.1%と最も高く、次いで「もっと男性が参加する方よい」(22.8%)となっています。

性別にみると、「男性」で「もっと女性が参加する方よい」が20.1%と2割を占めています。

(1) 実態での回答別にみると、「主に女性」・「どちらかというと女性」と答えた人で「もっと男性が参加する方よい」、「男女同じくらい」・「どちらかというと男性」・「主に男性」と答えた人で「このままでよい」、がそれぞれ最も高くなっています。



< (1) 実態とのクロス集計 >

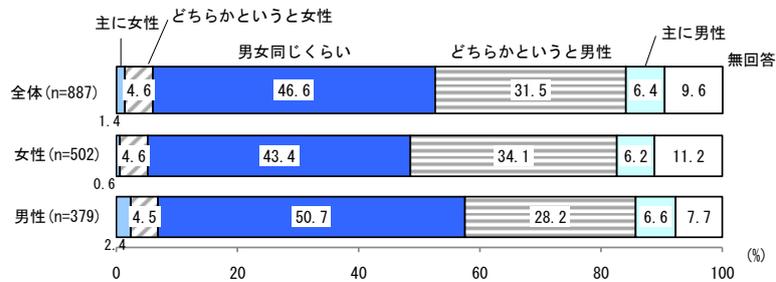


問23 ③ 話し合いの場での発言

(1) 実態

話し合いの場での発言の男女の役割分担の実態については、「男女同じくらい」が46.6%と最も高く、次いで「どちらかというと男性」(31.5%)となっています。

性別にみると、「女性」で「どちらかというと男性」が34.1%と3割を超えており、「男性」では「男女同じくらい」が50.7%と5割を占めています。

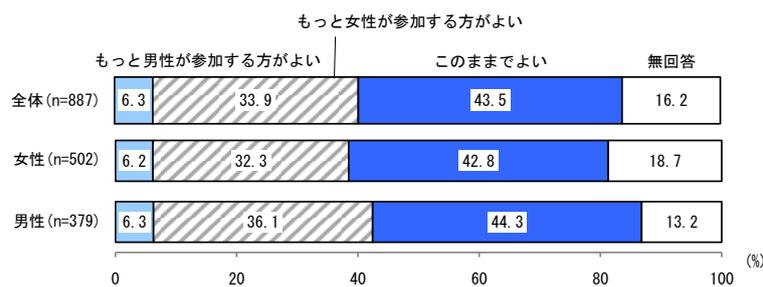


(2) 考え

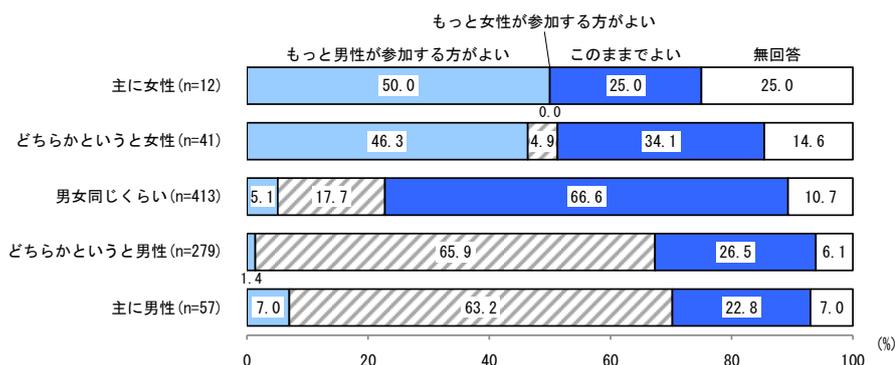
話し合いの場での発言の男女の役割分担に対する考えについては、「このままでよい」が43.5%と最も高く、次いで「もっと女性が参加する方がよい」(33.9%)となっています。

性別で大きな差はみられません。

(1) 実態での回答別にみると、「主に女性」・「どちらかというと女性」と答えた人で「もっと男性が参加する方がよい」、「男女同じくらい」と答えた人で「このままでよい」、「どちらかというと男性」・「主に男性」と答えた人で「もっと女性が参加する方がよい」がそれぞれ最も高くなっています。



< (1) 実態とのクロス集計 >

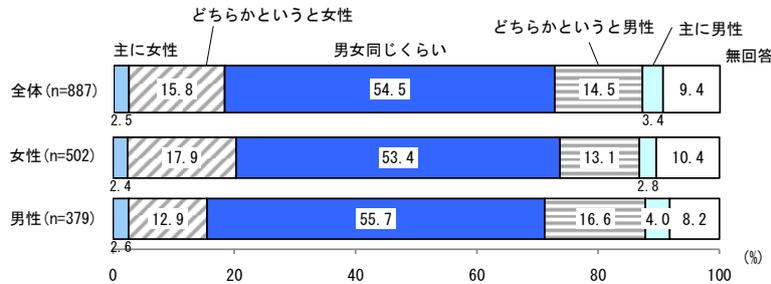


問23 ④ 地域活動への参加

(1) 実態

地域活動への参加での男女の役割分担の実態については、「男女同じくらい」が54.5%と最も高く、次いで「どちらかというと女性」(15.8%)となっています。

性別にみると、「女性」で「どちらかというと女性」が17.9%と2割近くを占めています。

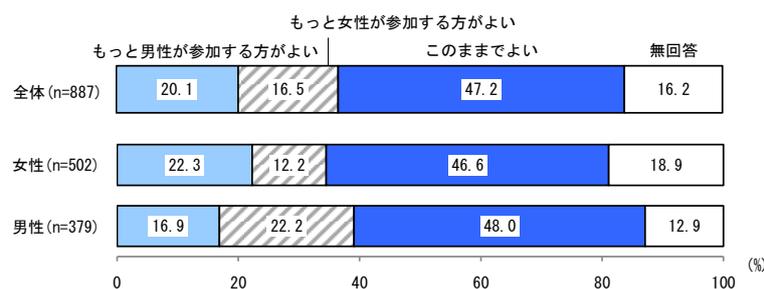


(2) 考え

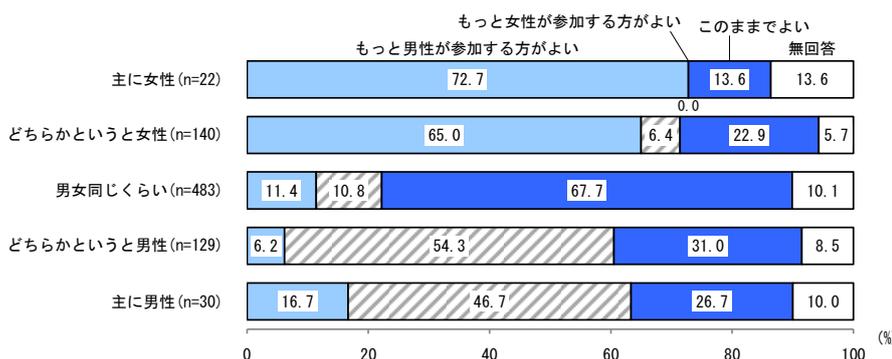
地域活動への参加での男女の役割分担に対する考えについては、「このままでよい」が47.2%と最も高く、次いで「もっと男性が参加する方がよい」(20.1%)となっています。

性別にみると、「女性」で「もっと男性が参加する方がよい」が22.3%と2割を超えている一方で、「男性」では「もっと女性が参加する方がよい」が22.2%と2割を超えています。

(1) 実態での回答別にみると、「主に女性」・「どちらかというと女性」と答えた人で「もっと男性が参加する方がよい」、「男女同じくらい」と答えた人で「このままでよい」、「どちらかというと男性」・「主に男性」と答えた人で「もっと女性が参加する方がよい」がそれぞれ最も高くなっています。



< (1) 実態とのクロス集計 >

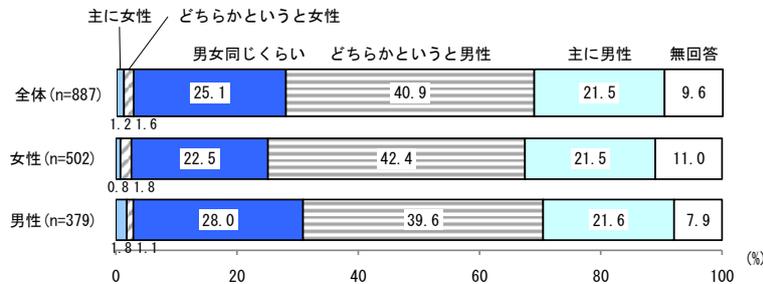


問23 ⑤ 地域活動団体の長になる

(1) 実態

地域活動団体の長になることへの男女の役割分担の実態については、「どちらかという」と男性」が40.9%と最も高く、次いで「男女同じくらい」(25.1%)となっています。

性別にみると、「男性」で「男女同じくらい」が28.0%と3割近くを占めています。

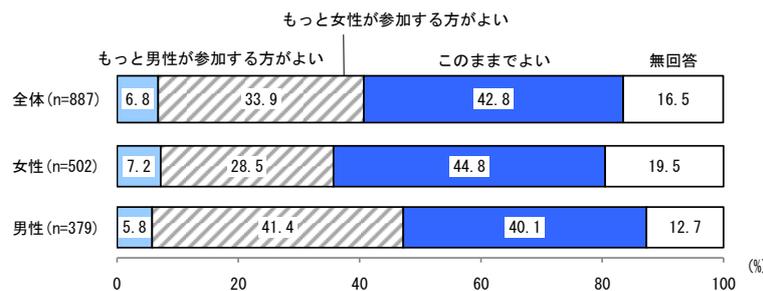


(2) 考え

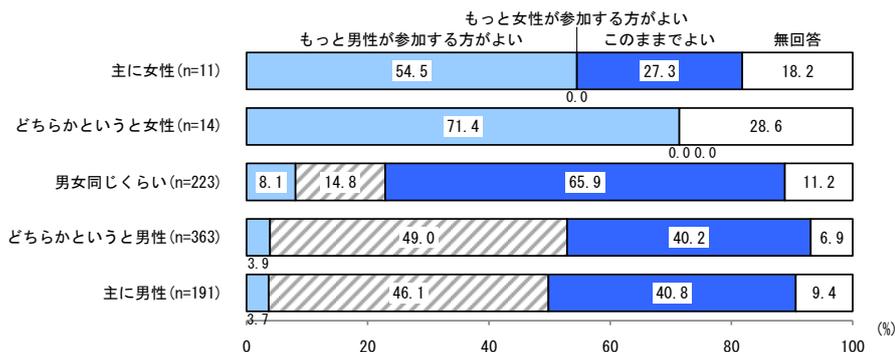
地域活動団体の長になることへの男女の役割分担に対する考えについては、「このままでよい」が42.8%と最も高く、次いで「もっと女性が参加する方がよい」(33.9%)となっています。

性別にみると、「男性」で「もっと女性が参加する方がよい」が41.4%と最も高くなっています。

(1) 実態での回答別にみると、「主に女性」・「どちらかという」と女性」と答えた人で「もっと男性が参加する方がよい」、「男女同じくらい」と答えた人で「このままでよい」、「どちらかという」と男性」・「主に男性」と答えた人で「もっと女性が参加する方がよい」がそれぞれ最も高くなっています。



< (1) 実態とのクロス集計 >

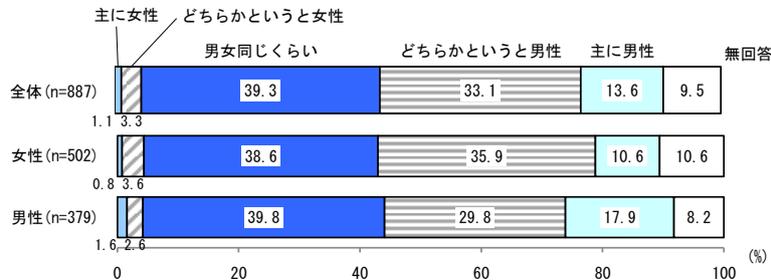


問23 ⑥ 防災・防犯活動への参加

(1) 実態

防災・防犯活動への参加での男女の役割分担の実態については、「男女同じくらい」が39.3%と最も高く、次いで「どちらかというと男性」(33.1%)となっています。

性別にみると、「男性」で「主に男性」が17.9%と2割近くを占めています。

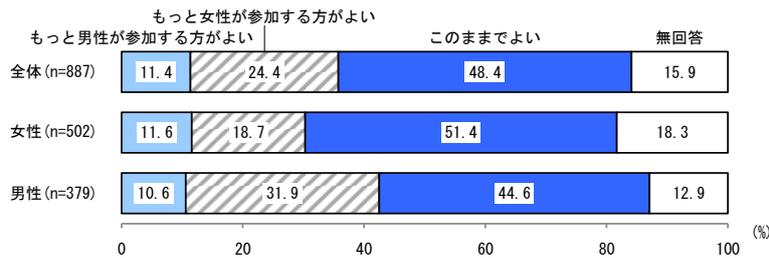


(2) 考え

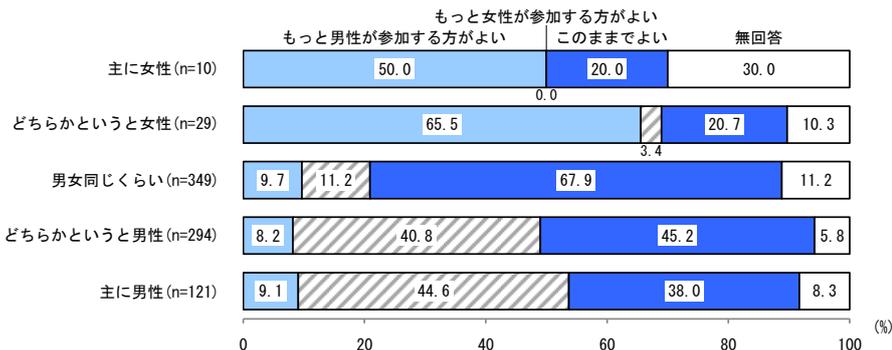
防災・防犯活動への参加での男女の役割分担に対する考えについては、「このままでよい」が48.4%と最も高く、次いで「もっと女性が参加する方がよい」(24.4%)となっています。

性別にみると、「男性」で「もっと女性が参加する方がよい」が31.9%と最も高くなっています。

(1) 実態での回答別にみると、「主に女性」・「どちらかというと女性」と答えた人で「もっと男性が参加する方がよい」、「男女同じくらい」・「どちらかというと男性」と答えた人で「このままでよい」、「主に男性」と答えた人で「もっと女性が参加する方がよい」がそれぞれ最も高くなっています。



< (1) 実態とのクロス集計 >



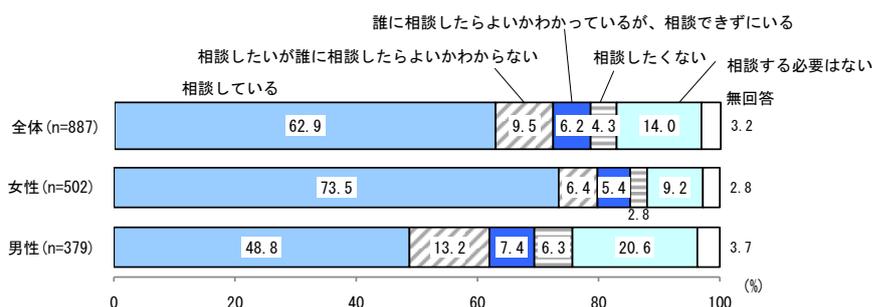
(8) 仕事や生活などの悩みやストレスの相談の有無

問24 仕事や生活などの悩みやストレスは誰かに相談していますか。【〇は1つ】

仕事や生活などの悩みやストレスの相談状況については、「相談している」が62.9%と最も高く、次いで「相談する必要はない」(14.0%)となっています。

性別にみると、「女性」で「相談している」が73.5%と7割を超えている一方で、「男性」では48.8%と5割未満となっています。

年代別にみると、「70歳以上」で「相談する必要はない」が2割を超えています。また、「30歳代」・「50歳代」で「相談したいが誰に相談したらよいかわからない」が1割を超えています。



<年代別クロス表>

(%)

	調査数	相談している	相談したいが誰に相談したらよいかわからない	誰に相談したらよいかわかっていないが、相談できずにいる	相談したくない	相談する必要はない	無回答
全体	887	62.9	9.5	6.2	4.3	14.0	3.2
10~20歳代	71	64.8	8.5	5.6	2.8	15.5	2.8
30歳代	84	79.8	14.3	3.6	-	2.4	-
40歳代	122	72.1	5.7	6.6	4.1	10.7	0.8
50歳代	160	65.0	12.5	8.1	3.8	10.0	0.6
60歳代	222	63.1	9.0	8.1	4.1	14.0	1.8
70歳代	166	49.4	8.4	4.8	7.2	21.7	8.4
80歳以上	62	50.0	8.1	1.6	6.5	24.2	9.7

◇ 「4. 相談したくない」を回答した理由

・相談相手によらず、仕事の意味での評価、あるいは人間関係の意味での評価に悪い影響を与えるケースが想定される、また雰囲気が悪くなる可能性も感じる。であれば、そのようなリスクを取らずに自分で発散する方が気持ちが楽(ゲームをするなど) (男性10～20歳代)
・仕事とプライベートはわけたいので家庭には持ち込みたくない (男性40歳代)
・他人に理解できるわけではなく、気休めにもならない。(男性50歳代)
・家庭の愚痴や不満など言いたくない。(女性60歳代)
・自分自身で解決する。(男性60歳代)
・プライベートなことを拡散されたくない。(男性70歳代)
・ストレスをあまり気にしていない。(女性80歳代)

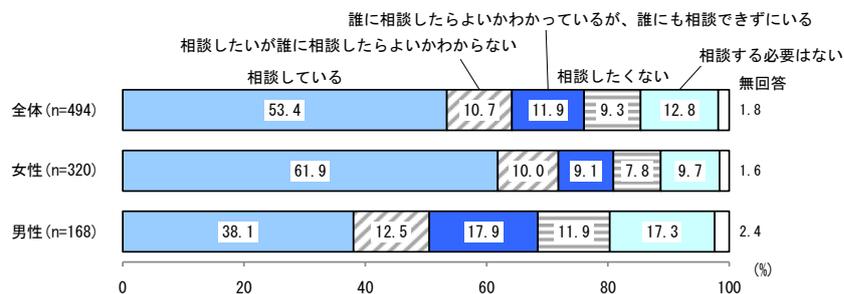
◇ 「5. 相談する必要はない」を回答した理由

・解決の手段として相談と言う形を取ることはあるだろう。しかし、悩みやストレスを必ずしも人に相談する必要は無いと思う。(男性10～20歳代)
・都度消化してる為。(男性30歳代)
・自分で解決する方が向いているから (女性40歳代)
・面倒だから。(女性50歳代)
・相談する相手に対し、信頼できるか、プライバシーが守られるか、等問題がある。(男性60歳代)
・相談出来る様な悩みなら相談しなくても解決出来る程度か、と考えている。悩みは言葉に出来ない。(女性70歳代)
・自身の事であり決めるのも自分です。(女性80歳代)

◆ 前回調査との比較 (※一部選択肢が今回調査とは異なる)

全体では、前回調査より、「相談している」が9.5ポイント高くなっています。

性別にみると、前回調査より、「相談している」が「女性」で11.6ポイント、「男性」で10.7ポイント高くなっています。

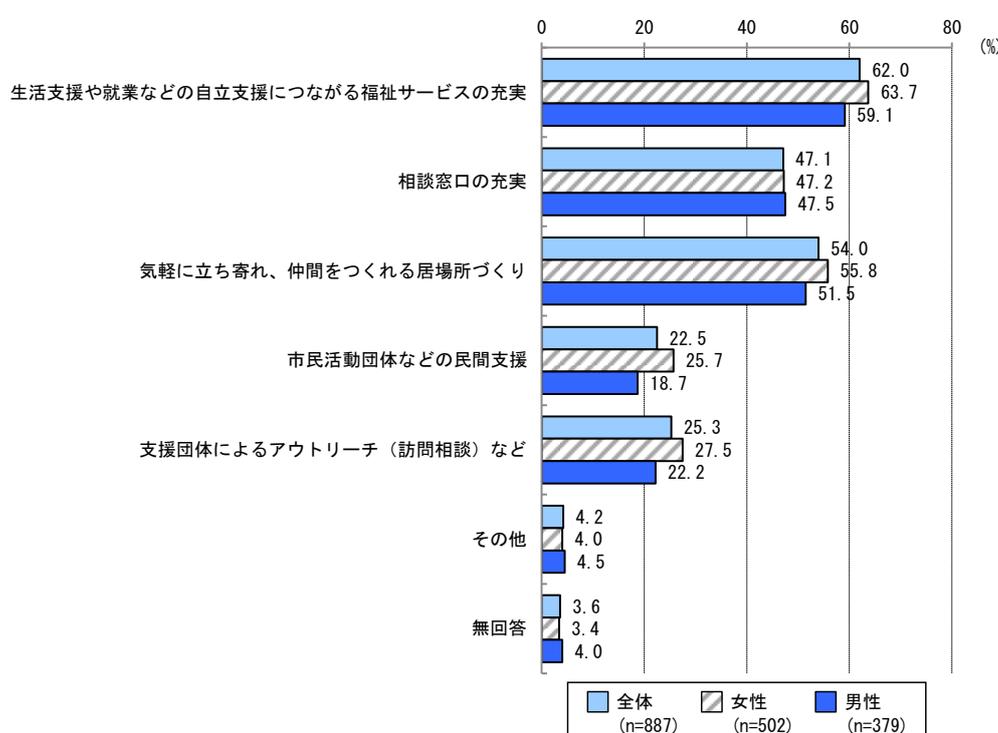


(9) 様々な困難や不安を抱えがちな人への支援で必要だと思うもの

問25 孤独・孤立などにより様々な困難や不安を抱えがちな人（ひとり親や単身生活者など）への支援について、あなたが必要だと思うものをお答えください。
【あてはまるものすべてに○】

様々な困難や不安を抱えがちな人への支援について必要だと思うものについては、「生活支援や就業などの自立支援につながる福祉サービスの充実」が62.0%と最も高く、次いで「気軽に立ち寄れ、仲間をつくれる居場所づくり」(54.0%)、「相談窓口の充実」(47.1%)となっています。

性別にみると、「女性」で「支援団体によるアウトリーチ（訪問相談）など」が27.5%と3割近くを占めています。



◇ 「2. 相談窓口の充実」を回答した理由

・自分の胸の中だけに止めていくのではなく、安心してうちあける事が出来たら、それだけでも光が見えると思うから。(女性70歳代)

◇ 「3. 気軽に立ち寄れ、仲間をつくれる居場所づくり」を回答した理由

・同じ悩みを持つ者同士が交流できるのは良いとおもうから。(男性40歳代)

◇ 「6. その他」の内容

・支援の充実よりも支援の周知のほうが重要では？知らなければ使えるものも使えない。(男性30歳代)

・弱者への制度上の支援はもう十分ではないでしょうか。支援するとすれば、ちゃんと仕事をしていただくことではないでしょうか。(女性50歳代)

・孤独や孤立を自ら好んでいる人もいるし、見ず知らずの人に自分の事を詮索されるのを嫌がる人もいるから。(女性80歳以上)